

2022 年 6 月 17 日

東海旅客鉄道労働組合政策部発行



JAPAN-RAILWAY-TOKAI-WORKERS-UNION



自治体(愛知県)訪問を実施！

～政治政策担当者で自治体との関係づくりの重要性を共有～

J R 東海ユニオンは、J R 連合の方針を踏まえて、地方における地域公共交通の現状と交通政策の方向性を把握するとともに、自治体関係者の各交通政策に対する理解を促進させるため、定期的に自治体訪問を実施しています。今年度は、地方議員団会議幹事長である河合愛知県議会議員と連携し、4月14日に、愛知県を訪問しました。

訪問には、J R 連合、中央本部をはじめ各地本・総支部の政治政策担当者が出席し、愛知県の担当者（都市・交通局交通対策課）と情報交換、意見交換を実施しました。

J R 連合、J R 東海ユニオンからは「持続可能な地域公共交通をつくる J R 連合政策提言」について説明し、愛知県からは 2022 年 2 月に策定された「あいち交通ビジョン」と「リニア中央新幹線の開業による時間短縮効果を県内全域に波及させ、最大限に活用する取り組み」等の政策について説明を受けました。

意見交換の際には、担当者からは、『ラグビーワールドカップ 2019』の際に、J R 東海と良い形で連携を図れたことに触れられ、引き続き J R 東海との連携を深めたい旨の発言がありました。

こうした取り組みを通じて、政治政策担当者が自治体との関係づくりを進める重要性について、あらためて認識を深めることができました。

引き続き、J R 連合が進める「チーム公共交通」「チーム地域共創」の取り組みと連動した地方自治体訪問を計画・実施していきます。



県議会議事堂内を説明する
河合県議（地方議員団幹事長）